

令和4年度【事業者向け】児童発達支援自己評価表 集計結果

公表：令和5年3月2日

事業所名：スマイルリズム

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	ご意見	管理者回答・ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか。	14	3	0	1		○法令に則って、必要なスペースを確保しています。また、活動や人数によっては外や公共の施設を利用し工夫しています。
	②職員の配置数は適切であるか。	17	0	1	0		○法令に則って、必要な職員数を配置しています。しかし、常勤、非常勤共に今後採用予定です。
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	7	6	5	0	③段差、視覚支援、構造化、動線等	○貨物物件のため、屋内のバリアフリー化は課題となっています。玄関前の段差が大きかったため、ステップを設置いたしました。 ○未就学児のお子様の体に合わせるために、高さの調節ができる机と背もたれ、ひじ掛けがついた椅子を購入しました。
業務 改善	④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	17	1	0	0		○常勤、非常勤に関わらず、年度の目標を立てています。中間面談、年度末面談を行い、目標の進捗確認や評価を行っています。また、メンター制度を行っています。毎月のメンターとの面談で目標設定や評価を行っています。
	⑤保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	16	1	0	1		○保護者様方にアンケート調査を実施しています。結果を基に業務改善につなげていきます。
	⑥事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	15	3	0	0		○保護者、職員共にHPで公開しています。
	⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	3	2	10	3		○第三者による外部評価を行っていません。
	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	17	1	0	0	⑧研修月1回以上、ミニ研修平日毎日	○必須研修を月に1度必ず行っています。虐待防止、衛生管理（3か月に1回）、身体拘束防止、個人情報保護、事故発生予防、感染症予防、非常災害対策計画（BCP）、ハラスメント防止、法令遵守、ケース会議、個別支援計画の共有会議、モニタリング内容共有会議等について、取り組みました。 ○昼礼後、ミニ研修会を行っています。発達段階、ケース会議、ABC分析、ロールプレイング、レクリエーション等について取り組みました。 ○発達支援に関わる本の貸し出しを行っています。 ○社会福祉協議会やさいたま市が主催する外部研修に常勤、非常勤問わず、参加しています。 ○メンター（指導者役）をつけ、O-JTの活性化を狙っています。
適 切 な 支 援 の 提 供	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	18	0	0	0		○半期に1度面談の機会を設け、現在の課題やニーズを聞き取りし、その上で個別の支援計画を作成しています。また、必要があるお子様には半年未満でも見直しをしています。
	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	16	1	0	1		○標準化されたアセスメントツール（WISC-IV、田中ビネー知能検査、新版K式発達検査等）を保護者様から共有して頂き、お子様の適応行動の状況を図っています。
	⑪児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	17	1	0	0		○保護者様のご意向、お子様の課題に合わせて、ガイドライン上の項目を選択して支援を設定しています。ガイドラインの理解が職員によってばらつきがあります。職員全体の理解度を深めることを今後の課題としていきます。
	⑫児童発達支援計画に沿った支援が行われている	18	0	0	0		○上記を加味し、個別支援計画を作成しています。個別支援計画に沿って、支援を行っています。
	⑬活動プログラムの立案をチームで行っている	15	3	0	0		○毎月第一月曜日にイベント計画会議を行いました。常勤、非常勤に関わらず、参画しています。 ○児童発達支援担当者グループで支援を決定しています。新たに児童発達支援グループの会議時間を設けました。
	⑭活動プログラムが固定化しないよう工夫している	16	2	0	0		○お子様の課題に合わせて行っているため、活動プログラムの継続も大切な要素となっています。お子様方の状況、保護者様の意向に合わせて、必要なプログラムを行っています。
	⑮子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	18	0	0	0		○作成しています。
	⑯支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	15	3	0	0		○支援開始前に職員間で必ず打合せをしています。打ち合わせに参加できなかった職員への共有漏れを防ぐため、連絡ツールを使用して共有漏れを防いでいます。
	⑰支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	5	0	1		○保護者様へアップしている提供記録を連絡ツールで共有していますが、毎日の共有が難しかったです。来年度の目標としたいと思います。 ○児童発達支援の会議時間を新たに設けました。そこで支援の振り返りや評価、改善を話し合っています。 ○支援終了後に勤務している職員と情報共有を行うことはできていますが、当該時間残っていない職員や常勤・非常勤で差が出ています。今後の課題としていきます。
	⑱日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	17	1	0	0		○提供記録の記録、公開、評価を行っています。気になったことは朝礼、昼礼で管理者が取り上げ、話し合えることができています。
	⑲定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	18	0	0	0		○半期に1度、面談期間を2か月程度設定し、ご希望に合わせてモニタリングを行っています。その中で、必要性を判断し、計画の見直しを定期的に行っています。
関係 機	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	0	5	1		○令和4年度、相談支援事業所よりサービス担当者会議の声掛けがありませんでした。声掛けがあったときには参画していきます。こちらから打診して関係者会議を行っていただくこともありました。

関 や 保 護 者 と の 連 携	②母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11	3	3	1	〇令和4年度、ご希望があったご利用者が在籍する幼稚園、保育園、子ども園、児童発達支援事業所へ情報共有会の打診を行いました。全て実施することはできませんでしたが、5割ほどの施設様にご協力いただくことができました。来年度も継続していきたいと思えます。
	②(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	6	9	2	〇現在、医療的ケアを日常の中で必要とするお子様のご利用はありません。
	③(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	3	11	2	〇現在、医療的ケアを日常の中で必要とするお子様のご利用はありません。
	④移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	4	0	0	〇②と内容同一
	⑤移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	2	0	2	〇令和4年度、ご希望があったご利用者が在籍する全ての学校へ情報共有会の打診を行いました。全て実施することはできませんでしたが、8割ほどの学校様にご協力いただくことができました。来年度も継続していきたいと思えます。
	⑥他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	3	3	1	〇さいたま市からの案内を受け、研修に参加していただきました。
	⑦保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	3	8	2	〇現在、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会を設けておりません。今後の課題として、保護者様方のご要望や、お子様方の状況に応じて、検討していきたいと思えます。
	⑧(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	3	8	2	〇現在、地域自立支援協議会の見沼区部会が準備中となっており、お声がかかっていない状況です。お声がけいただいたら、参加していきます。
	⑨日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	18	0	0	0	〇面談、送迎時、HUGのメッセージ、電話、提供記録等で共通理解を図っています。特に提供記録は未読の保護者様もいらっしゃるのので、お声がけしていくことも検討していきます。
⑩保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	11	3	2	2	〇独立した家族支援プログラムは行っていません。今後の課題として、検討していきます。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	18	0	0	0	〇見学時やご契約の際に、支援内容や利用者負担(上限額について等)、について説明しております。また、文書を作成し、お渡ししています。今年度はGoogleアンケートの機能を利用し、保護者様へWeb上で確認、サインをいただくことも行ってまいりました。
	④児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	18	0	0	0	〇モニタリング時に来期の目標について、打診、説明、了解を得てから支援計画を作成しています。作成後は周知し、同意の電子サインをいただいています。
	⑤定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	18	0	0	0	〇半期に1度、面談月間を設定し、ご希望に合わせて行っています。面談だけではなく、送迎時や電話、HUGのメッセージ等でもお家のお困りごとに対して、傾聴やアドバイスをさせて頂いています。
	⑥父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	7	7	2	〇現在、父母の会の活動支援や、保護者会等の開催を行っていません。今年度は新しい取り組みとして、保護者様や地域の方に参加いただけるバザーを開催いたしました。大変ご好評でしたので、来年度も実施したいと思えます。
	⑦子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	18	0	0	0	〇苦情受付書ではなく、「ご利用者様・保護者様の声」と名前を変え、内容を多様化、また記述を簡易化したことにより、提出数を上げてまいりました。それに伴い、小さなお声を拾えるようになってきたと感じています。その後、保護者様方から頂いたご意見は、職員同士で話し合い、共有、改善するように努めています。
	⑧定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	1	2	2	〇HUGやHP、ブログ、InstagramといったWEBサービスで、個人情報に気をつけながら公表しております。
	⑨個人情報の取扱いに十分注意している	17	1	0	0	〇個人情報に十分注意しています。
	⑩障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	18	0	0	0	〇必要に応じて、個別で配慮を行っています。
	⑪事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10	6	1	1	〇今年度は初のバザーを開催し、地域の方にもご参加いただきました。大変ご好評でしたので、来年度も行いたいと思えます。今年始には毎年必ずご挨拶をしています。また、日曜日に開催されている地域の清掃にも可能な限り参加しています。
非 常 時 等 の 対	④緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	18	0	0	0	〇作成しています。常勤、非常勤への周知が徹底できました。保護者様への周知ができていなかったため、2023年4月末までにHUG、HP等で公開いたします。
	④非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	17	1	0	0	〇平日、学校休業日、必須研修等で訓練を行ってまいりました。
	④事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	18	0	0	0	〇3か月に1度衛生管理研修を行い、服薬、予防接種、てんかん発作等の情報共有や対応方法について確認しています。また、服薬に関しては与薬管理表をご提出いただくようにしています。
	④食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	18	0	0	0	〇食物アレルギーへの対応が必要なお子様には保護者様に医師の診断書を提出していただきました。事業所内で共有し、3か月に1度の衛生管理研修で確認しています。

応	④ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	16	0	1	1	○ヒヤリハット事例集を作成しています。提出数を上げるために様式を簡易化し、毎週月曜日に配布しています。しかし、個人や業務内容によって提出数に差が出ています。共有に課題があるので、毎週月曜日に先週分のヒヤリハットを共有する時間を設けることにしました。事故予防につながればと思います。
	⑤虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	17	1	0	0	○必須研修で虐待防止研修を行っています。また、外部への研修にも参加しています。身体接触等にも配慮し、事業所内で判断基準を定めたり、保護者様へ個別で許可いただいたりしています。
	⑥どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	18	0	0	0	○上記を踏まえ、手つなぎや身体介助が必要なお子様には個別支援計画書に記載しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。